

阿部孫治

秋季例会の御案内をいただき、有難うございました。去る九月末、宝塚市雲雀丘一の五の九へ転居致し雑用に取紛ぎれ、折角の好季に甚だ残念と存じますが、今度は欠席させて頂きます。会員皆様の御健康と、御盛会をお祈り申し上げます。

の頃で御座居ます。お蔭様で元気に過して居りますが、何しろ高令の母を抱えておりますので、残念乍ら今回は欠席させて頂きます。よろしく。

井上函二

何分老令（九三才）の事として疲れ易く、残念乍ら、欠席させて頂きます。

井上好正

気管支喘息の発作が起る心配がありますので、煙草の煙りを警戒しております。従って多数人の集りをご遠慮申し上げます。何卒よろしく。

菜崎 実

一寸体調をくずして居りまして欠席の段、失礼致します。

飯高奈津

お陰様で大分体の調子はよくなりましたが、乗物は無理と医者に云われましたので、残念ですが欠席致します。

伊藤清子

たつみ御恵送有難う存じました。色とりどりの菊の花々の美しいこ

小川多喜子

お知らせ誠に嬉しく存じました。が、一週間札幌に参り只今帰宅致しました。比度は欠席させて頂きます。皆様から元気だと申して下さいますが、年は年でございます。

金子甚蔵

いつも御世話様でございます。神経痛を患いました後、足が少し弱りまして只今訓練中でございます。

後藤雄太郎

病気も大分回復して参りましたが、未だ歩行が充分ではありませんので、残念ですが今回は欠席させて頂きます。

小松彰男

諸先輩のご厚誼にあまえ、延世のご指導に預かるチャンスと、期待していましたが都合により不参加となり残念です。次回よろしくお願い申し上げます。

阪倉卯三郎

勝手乍ら高令（九三才）のため、秋季例会は辞退、神仏の加護にて幸い健康、散歩も出来、日々三度の食事もおイシク頂きます。

佐々木武夫

目下病氣入院中につき、今回は辞退致します。

白井栄次郎

足腰を少々痛めて居りますし、丁度当日他用の先約がありますので、例会は欠席致します。

芝 徳夫

秋季例会の御案内を頂き御礼申し上げます。他用あり欠席致しますが御盛会をお祈り居ります。

杉山平好

足元は少しあやしくも、他は至極元気です。血圧、一三〇／八〇。体重四五。身長一六七。年令八〇。毎朝、回轉ゴム印の日付変更す

るのが日課となつています。この印は58、12、20新調品です。

里井禎次郎

酷しかった夏に痛められて、少々弱り気味で市外に出る事はなく少々老化したかと呆れて居ます。例会は乍残念欠席させて頂き。毎日飯炊きと、花作りに専念、秋菊には少し間がありますが楽しいですよ。

杉田定雄

毎度例会御通知有難う御座居ます。歩行が困難の為、乍勝手欠席させて頂きます。

田中卓次

今の所健康です。毎年夫婦で海外旅行して短い余生を楽しんでいます。其の他は庭木いじりで退屈せず無事過しています。（八十二才）

今回の神原温泉での例会には近鉄電車で出席致す予定で御座居ましたが、急用にて欠席と致します。

不悪御諒承下さい。

中畔登鬼男

毎毎『たつみ』御恵送下されお礼申し上げます。最近歩行困難となり外出も思うにまかせません。例会は欠席致します。体力回復に努力しております。

西川政一

御案内有難う存じました。少々遠い関係で心ならずも失礼致します。桂先生の御便りに奮起あるのみ。

野原貫司

十月十七日の例会は、日商岩井社友会の伊吹山回遊日と重なり欠席致します。御盛会祈念致します。

橋本賀一郎

種々御世話になっていきます。先づ先づ適当に働いています。

福本三郎 今回は一寸遠方ですから、日帰りは無理で失礼します。

半田みつ

歩行不自由のため、まことに残念乍ら欠席させていただきます。

深川 清

いつも御配慮頂き厚く御礼申し上げます。

九十一才と八十五才（愚妻）になりましたが、歩行力も割合衰えず元気で快適に老後を過しています。今回は出席させて頂く積りでしたが、都合により欠席させていただきます。

福本三郎

御蔭様で健康は保持して居ります。

今回は一寸遠方ですから、日帰りは無理で失礼します。

福井さかえ

卒寿を祝され元気に明け暮れて居りますが、皆さまと歩を合せての旅は無理と存じます。欠席させて頂きます有難く御礼申し上げます。

室谷山水

楽しい秋の例会、ご案内有難うございます。他の会合のため参加出来ませんが愉快な集い。御盛会をお祈り致します。

村田寿満

何時もお世話様になり有りがとう存じます。此の夏の猛暑に少し疲れておりますので、残念乍ら欠席させて頂きます。

森田博明

折角の催しですが、当日は民生委員の会合があり出席出来ず残念です。身体はとも元気です。

森 好子

いつもご親切にお誘い下さいまして有難う存じます。丁度その頃上京の予定でございますので勝手させて頂きます。何卒今後共よろしく。

山崎敏明

元気に過して居ります。当日據所無き所用の為欠席致します。皆様によろしく。

山本濱一

御案内ありがたく拝受、色々御手数のお蔭様で元気でありますが、当日生憎手の抜けぬ用事がありまして残念乍ら、欠席させて頂きます。不悪よろしくお願い申し上げます。

山本錬造

御案内頂き御礼申し上げます。甚だ乍残念当日は差支えがございますので、欠席致します。

吉田宜蔵

当日已むを得ない所がある為、残念乍ら欠席致します。今後共よろしく御願ひ申し上げます。

岩瀬聖一

体調は至極良好で此分だと二十

一世紀まで生きられそうだ。時時六〇年前の鈴木商店時代を思い出して感無量です。

佐野寿夫

一月の新年会、五月の京都大会は何れも風邪で欠席しました。今度は体に気をつけて出席します。元氣と言われても年令には勝てません。

隅田 栄

幸にたつしやです。もの書きと散歩に毎日を通してあります。『小曲』手に蝙蝠傘、うきなく改札口を出たが、忘れにやならぬ人故の、さても五十里、旅の空よ、あしたはどこえ立とうやら、空は晴れても曇るむね。

隅田まさ

九月十六日を以って四十三年間のお店を止めまして、ほっと致して居ります。これからは身体を大切に一日一日を有意義に過したいと思つて居ります。

竹下富士松

妻を失い相当のショックでしたが、昨今は立直り現在元氣を取戻しましたので乍他事、ご放念下さい。榊原温泉へは電車で直行致します。

堀内宏展

元気にやつて居ります。未だ現役を務めて毎日、工場と事務所と家との間を往復するのを楽しみにして居りますが、足の方が段段とよわく成つて来ました。

三浦平治

姫路で家の建替えを始めました。そのことで夢中になっています。来年二月末竣工の予定です。

芦谷 内

たつみ会報頂きまして有難う存じます。

随想『紅雲窟』、俳句いつも興味深く何度も、読ませて頂いております。(故芦谷増吉氏夫人)

佐々木貞子

此度はたつみ誌御贈呈頂きました。まことに有難うございました。亡夫義彦在世の頃を思い出してなつかしく拝読させて頂きました。

木戸口 孝

たつみ誌御恵送賜り有難うございました。私の才一の楽しみは、皆さんよりのお便りです。私は懐古派の一人として、半世紀前の事が走馬灯の如く胸中を去来し、芒々として全く夢の如しです。今回のたつみ誌の三頁に掲載の『東川崎町時代の鈴木商店』の写真を拝見しまして、お隣りに神戸新聞社や三越のありしことどもを想起しております。

二頁に仏人鈴木よね刀自のお写真に接しまして、益々昔が懐しくなつて参りました。私は大正二年神戸製鋼所労務課

に入社、以后子会社に勤務致しました。

黒木スミ

比度は御誌『たつみ』を御恵送頂きまして有難うございました。すぐ亡夫(弥千代)の仏前にそなえました。よろこんでいる事と思ひます。

鈴木佐賀子

此度もまた『たつみ』御贈り頂き誠に有難く、皆皆様の御健在のお写真を拝見致し、只只お目出度き限りと存じ上げ、しみじみと拝読させて頂きます。

(故鈴木丸衛氏夫人)

武内雪恵

先日は御親切にたつみ誌をお送り頂き有難う存じます。おなつかしいお方を思い出し乍ら、拝見させて頂いて居ります。何分高知から出席の方と御一緒出来ませぬ残念でなりません。

(故武内佳雄氏夫人)

和田祝恵

たつみ誌有難う存じました。表紙のなんと美しい事、全口大会写真のお庭の美しい事、次のページにはお家様の御写真、年令にとらわれぬ、にほいやかさど総明さのある美しい御顔をなつかしく感深くながめました。

又柳田様の随想にかかれた、風や雲に寄せての悟りを開いた境地を述べられましたが、大いに考えさせられました。

大会は欠席致しましたが、会の健全な存在、発展を知り得てうれしく存じました。今后其生命のある限り、消息を知りたくよろしく願ひます。

松村 勲

此度はたつみ誌41号を御送付頂きましたことに有難く厚く御礼申し上げます。

私は大正五年桜麦酒に入店し、去る昭和十八年、大日本麦酒を合併、後、統制会社、酒類配給公団のビール部(九州支部)に在籍、二十四年六月、解散、七月、大日本麦酒福岡営業所へ、九月分割に

小林俊夫

辰巳会誌御送り頂き興味深く拝見させて頂きました。有難く厚く御礼申し上げます。次に来年の大会開催日につき桜友会も参加させて頂きたくよろしく御配慮をお願い申し上げます。(新会員)

「いろは」で作る

松井タケヨ

御なつかしいたつみ誌四十一号今日拝受。『明治生れのたわ言』嬉しく幾度もくりかへし拝読致しました。竹下様有難うございました。左に松井タケヨの『いろはにほへ』を作つて見ました。

①生きていてよかつた明治大正昭和と。

